



湯河原小学校

本校の子どもたちは、「心はほかほか」「勉強はしっかり」「体ははつらつ」を合言葉に学校生活を送っています。
今月号は「心はほかほか」に関する二つの取組について紹介します。

＜ほかほか集会＞

児童の委員会活動の一つである事務局委員会を中心となり、全校の児童の心がほかほかになるような集会を年に2回計画しています。

1回目は、なかよし班の友だちの名前を覚えて仲良くなれるようにと、5月に名刺交換ゲームが行われました。1年生から6年生までのなかよし班の仲間と触れ合う機会となり、子どもたちの顔には笑顔があふれていました。

2回目は、なかよし班の仲間と協力して楽しめるように、長縄と

ピンポン運びゲームを内容とした集会が企画されています。なかよし班の仲間に温かい声援を送りながら協力して取り組みます。

＜ことばの日＞

本校では、子どもたちが日常使っている「ことば」に目を向け、よりよい人間関係を築くためには、温かいことばを使えるように働きかけていくことが大切だと考えています。そこで、毎月10日に「ことばの日」を設定し、子どもたちが自分のことばについて振り返る機会を設けています。



振り返りカードの感想欄に記入されていた児童の感想の中から三つを紹介します。

- 「大丈夫？」と言われると自分のことを心配してくれる友だちがいることがわかって幸せな気持ちになります。
- 昨年より、丁寧なことばが増えたと思います。
- 上級生が「おはよう」「さようなら」と言ってくれました。私が返したら、友だちになれました。



吉浜小学校

本校では、児童の交通安全が大きな課題となっていました。そこで、平成19年度からPTAの運営委員会に交通安全対策委員会をつくっていただきました。この委員会では、保護者の方へアンケートを実施し、その結果に基づいて、交通安全上課題となる箇所を洗い出し、児童の安全をどのように守るか検討してきました。

その中で、保護者の方からたくさんのご指摘があったのが、「新崎川の交差点から本校南門に至る



通学路」「鍛冶屋会館周辺」「ゆうゆうの里から鍛冶屋方面への通学路」の3か所でした。そこで、この3か所について、朝の登校時の交通状況を調査した結果、多くの課題が出てきました。特に、新崎川から南門までの通学路は、コミュニティバスの運行もあり、車の往来が激しいことがわかりました。

そこで、通学路を新崎橋先を左折し、学校正門に至る道路に変更することによって、交通安全を図っていくことにしました。

このため、夏休み期間中に吉浜区長さんを始め、地区の組長さんにお集まりいただき、この通学路変更の趣旨のご理解とご協力をお願いしました。地域の方からは快くご承認いただきました。

中央地区の児童約250人が現在、新しい通学路に従って登校しています。地域の皆さんに、ご迷惑のかからないよう右側通行など、きちんとした登下校をさせたいと思っています。

今のところ、交通安全の面では特に問題なく推移しているようです。しかし、新しく通学路となった道路に対して、児童の興味は尽きないようで、行ったことのない狭い道を探検したり、ミカン畑に入ってみたりしている状況があります。ご迷惑をおかけした場合や危険な行為につきましては、どしどしご指導くださいますよう、この場をお借りしてお願いします。

なお、交通安全上の課題が指摘されている他の箇所についても、これから改善に向けて検討していきたいと考えています。